

平成19年度政策評価・施策評価基本票の 要 旨

平成19年6月

宮 城 県

目 次

ページ

1 趣 旨	1
2 政策評価・施策評価について	1
(1) 政策評価・施策評価の目的	1
(2) 政策・施策・事業とは	1
(3) 政策評価・施策評価の評価方法等	2
3 平成19年度政策評価・施策評価の状況	2
(1) 政策評価の状況	3
(2) 施策評価の状況	5
(3) 政策評価指標の状況	7
4 各政策・施策の評価状況	7
評価状況一覧表	8

評価対象政策一覧（30政策）

分野1 くらし（保健・医療・福祉システムの充実，地球環境問題への取組，国土保全等）

- 政策整理番号 1 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり
- 政策整理番号 2 どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり
- 政策整理番号 3 子どもを安心して生み育てることができる環境づくり
- 政策整理番号 4 誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備
- 政策整理番号 5 生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組
- 政策整理番号 6 県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり
- 政策整理番号 7 県土の保全と災害に強い地域づくり
- 政策整理番号 8 地球環境の保全
- 政策整理番号 9 環境負荷の少ない地域づくりの推進
- 政策整理番号 10 豊かな自然環境の保全・創造
- 政策整理番号 11 循環型社会の形成

分野2 なりわい（新しい産業の創造，地域産業の高度化，産業人の育成等）

- 政策整理番号 12 産業技術の高度化に向けた研究開発の推進
- 政策整理番号 13 新成長産業の創出・育成
- 政策整理番号 14 新しい時代を担う産業人の育成
- 政策整理番号 15 高度な産業技術の普及推進
- 政策整理番号 16 産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出
- 政策整理番号 17 消費者ニーズに即した産業活動の展開
- 政策整理番号 18 産業基盤の整備による生産力の強化
- 政策整理番号 19 足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化
- 政策整理番号 20 産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進
- 政策整理番号 21 雇用の安定と勤労者福祉の充実

分野3 ふるさと（学校教育・社会教育の充実，NPO活動の推進，文化活動の推進等）

- 政策整理番号 22 個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進
- 政策整理番号 23 生涯にわたって学び楽しめる環境の充実
- 政策整理番号 24 男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成
- 政策整理番号 26 地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興
- 政策整理番号 27 多様な主体の協働による地域づくりの推進

分野4 まじわり（交通・情報・通信ネットワークの整備，内外交流活動の展開等）

- 政策整理番号 33 国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化
- 政策整理番号 34 国内の交流を進めるための交通基盤の整備
- 政策整理番号 35 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進
- 政策整理番号 36 高度情報化に対応した社会の形成

平成19年度政策評価・施策評価基本票の要旨

1 趣旨

県では、平成14年度から行政活動の評価に関する条例に基づいて政策評価・施策評価を実施しています。この書面は、県が平成19年度に実施した政策評価・施策評価基本票（県の自己評価）の要旨を県民の皆様

2 政策評価・施策評価について

(1) 政策決定・施策評価を行う目的

政策決定に必要な情報を提供します

県は、政策、施策、事業の効果を把握しながら、“宮城の将来像として望ましい社会”（基本方向）を実現するという目標に照らして客観的な判定を行い、政策判断に必要な情報を提供します。

効果的・効率的で質の高い行政を行います

県は、政策・施策・事業に対する評価の結果をもとに、今後の政策・施策の展開のあり方を検討し施策の重点化を図るなど、行政運営に適切に反映することにより効果的・効率的で質の高い行政を行います。

県民への説明責任を果たし透明性を向上させます

県は、政策・施策・事業の評価に関する様々な情報を随時公表し、県民の皆さまに説明する責任を果たしながら、行政の透明性の向上を図ります。

(2) 政策・施策・事業とは ～ “宮城の将来像” を実現するための “方針と手段” ～

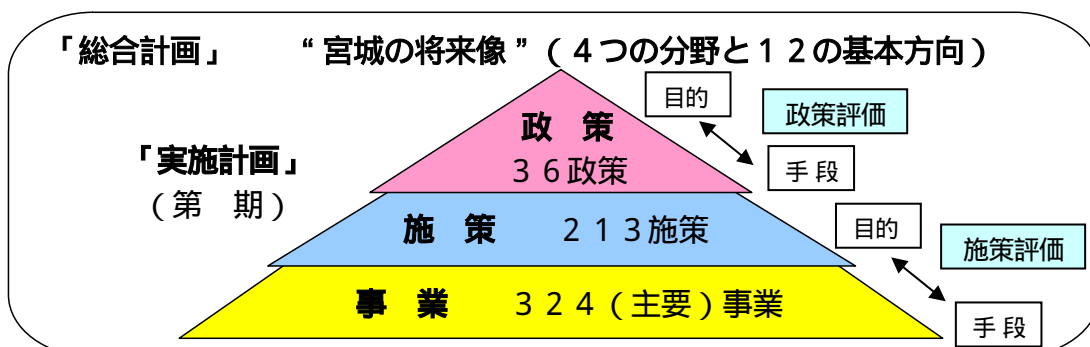
宮城県総合計画と“宮城の将来像”

県は、平成12年3月に「宮城県総合計画」を策定し、県政の基本理念である「真に豊かな安心とゆとり地域づくり」をめざし、「福祉、環境、教育」を「新しい宮城づくりの基軸」としながら、「くらし」・「なりわい」・「ふるさと」・「まじわり」の4つの分野の“宮城の将来像”（12の基本方向）の実現に向けたビジョンを示しました。

総合計画を具体化する“政策・施策・事業”の3層構造

宮城県総合計画「第 期実施計画」では、基本方向を実現するための36の「政策」、及び政策をさらに具体化した方針である213の「施策」、ならびに施策を実現するための“手段”である324の「主要事業」等からなる“3層構造”の体系を定めています。

「第 期実施計画」では、施策の長期的な目標を数値で示すため、特に重点的な取り組みが必要と判断する105施策について、平成22年度までの目標値を定めた政策評価指標を平成18年度までに108指標設定しています。



なお、「宮城県総合計画」にかわり、平成19年3月に今後の県政の方向性として10年後のあるべき将来像を描く「宮城の将来ビジョン」を策定しました。平成20年度以降の評価は「宮城の将来ビジョン」の体系に基づいて行う予定です。

(3) 政策評価・施策評価の評価方法等

政策評価・施策評価は、前年度の政策、施策及び事業について、それらの全体の体系及び相互の関係を踏まえて包括的に行います。

平成19年度政策評価・施策評価では、平成18年度に実施した政策、施策及び事業について評価を行いました。

評価の対象及び評価項目

区分	対象		評価項目
政策評価	30政策	県総合計画で定められた全36政策のうち、当該政策を構成する施策に政策評価指標が設定され、かつ、その施策を構成する事業に前年度実績がある政策	政策と施策との関係、政策を構成する施策の体系、政策評価指標の達成度、社会経済情勢等から見て 施策の設定が妥当か 政策評価指標の設定が妥当か 施策が有効か
施策評価	103施策	県総合計画で定められた全213施策のうち、政策評価指標が設定され、その施策を構成する事業に前年度実績がある施策	施策と事業との関係、施策を構成する事業の体系、社会経済情勢、政策評価指標の達成度、事業の実績及び成果から見て 事業の設定が妥当か 事業が有効か 事業が効率的か 事業への県の関与が適切か

政策評価・施策評価の実施機関

県の各担当部局が、それぞれ担当する政策・施策・事業について評価します。

その際には、評価の客観性を確保するため、有識者で構成する宮城県行政評価委員会の意見を聴き評価に反映します。また、広く県民からも意見を聴き評価に反映するしくみとなっています。

3 平成19年度政策評価・施策評価の状況

県は、宮城県総合計画「第 期実施計画」で定められた全36政策213施策のうち、政策評価指標が設定され、かつ平成18年度事業実績がある政策及び施策の評価を行いました。

(1) 政策評価の状況

政策評価では、政策評価指標が設定された政策と政策を構成する施策について、各担当部局において政策評価・施策評価基本票のうち評価シート（A）を作成しました。

評価シート（A）では、政策を構成する施策の体系やそれぞれの施策の必要性
 関連する政策評価指標の妥当性
 施策の有効性

について評価し、これらの評価をとりまとめて政策に関する評価を総括しました。

【政策評価の判定区分及び判定基準】

社会経済情勢、政策評価指標の達成状況等から見て、

適切：政策を構成する施策の必要性、有効性が十分に認められ、施策の設定及びその推進が適切に行われていると判断されるもの。

おおむね適切：政策を構成する施策の必要性、有効性がある程度認められ、施策の設定及びその推進がおおむね適切に行われていると判断されるもの。

課題有：政策を構成する施策の必要性、有効性に十分ではない点があり、施策の設定及びその推進に関し、修正又は検討が必要と判断されるもの。

評価の対象となった30政策の評価の状況は以下のとおりです。

施策の設定及びその推進が「適切」に行われていると判断した政策は9政策で、昨年度から4政策増えました。

施策の設定及びその推進が「おおむね適切」に行われていると判断した政策は21政策で、昨年度から4政策減っています。

施策の設定及びその推進に関し、修正又は検討が必要と判断した政策はありませんでした。

政策評価（総括）	適切	おおむね適切	課題有	計
政策数	9 (30.0%)	21 (70.0%)	0 (0.0%)	30 (100.0%)
分野別内訳				
くらし	3 (27.3%)	8 (72.7%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)
なりわい	6 (60.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)
ふるさと	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
まじわり	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
参考 平成18年度評価結果	5	25	0	30

なお、各政策評価の結果は、後掲「4 各政策・施策の評価状況」の評価状況一覧の「政策評価」の欄をご覧ください。

「適切」と評価した政策	
くらし	政策整理番号3 子どもを安心して生み育てることができる環境づくり
	政策整理番号6 県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり
	政策整理番号11 循環型社会の形成
なりわい	政策整理番号12 産業技術の高度化に向けた研究開発の推進
	政策整理番号14 新しい時代を担う産業人の育成
	政策整理番号15 高度な産業技術の普及推進
	政策整理番号16 産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出
	政策整理番号18 産業基盤の整備による生産力の強化
	政策整理番号19 足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化
ふるさと	該当なし
まじわり	該当なし

「課題有」と評価した政策	
	該当なし

(2) 施策評価の状況

施策評価では、政策評価指標が設定された施策と施策を構成する事業について、各担当部局において政策評価・施策評価基本票のうち評価シート（B）を作成しました。

評価シート（B）では、その事業を県が行う妥当性
事業の有効性
事業の効率性

について評価し、これらの評価をとりまとめて施策に関する評価を総括しました。

【施策評価の判定区分及び判定基準】

政策評価指標の達成状況、事業の実績及び成果、社会経済情勢等から見て、

適切：施策を構成する事業の有効性、効率性が十分に認められ、事業の設定及びその推進が適切に行われていると判断されるもの。

おおむね適切：施策を構成する事業の有効性、効率性がある程度認められ、事業の設定及びその推進がおおむね適切に行われていると判断されるもの。

課題有：施策を構成する事業の有効性、効率性に十分ではない点があり、事業の設定及びその推進に関し、修正又は検討が必要と判断されるもの。

評価の対象となった103施策の評価の状況は、以下のとおりです。

事業の設定及びその推進が「適切」に行われていると判断した施策は36施策で、昨年度から19施策増えました。

事業の設定及びその推進が「おおむね適切」に行われていると判断した施策は67施策で、昨年度から20施策減っています。

事業の設定及びその推進に関し、修正又は検討が必要と判断した施策はありませんでした。

施策評価（総括）	適切	おおむね適切	課題有	計
施策数	36 (35.0%)	67 (65.0%)	0 (0.0%)	103 (100.0%)
分野別内訳				
くらし	14 (36.8%)	24 (63.2%)	0 (0.0%)	38 (100.0%)
なりわい	18 (46.2%)	21 (53.8%)	0 (0.0%)	39 (100.0%)
ふるさと	1 (7.7%)	12 (92.3%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
まじわり	3 (23.1%)	10 (76.9%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
参考 平成18年度評価結果	17	87	1	105

なお、各施策評価の結果は、後掲「4 各政策・施策の評価状況」の評価状況一覧の「施策評価」の欄をご覧ください。

「適切」と評価した施策	
くらし	政策整理番号1 施策5 障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保
	政策整理番号3 施策7 青少年の健全育成
	政策整理番号5 施策6 地域リハビリテーションサービスの提供
	政策整理番号6 施策3 事故のない安全で快適な交通社会の実現
	政策整理番号7 施策1 地域ぐるみの防災体制整備
	政策整理番号8 施策2 新エネルギー等の導入促進
	政策整理番号9 施策2 河川や湖沼、海等の水環境の保全
	政策整理番号10 施策6 自然とふれあう場や機会の提供
	政策整理番号11 施策2 廃棄物の資源化によるリサイクル など14施策
なりわい	政策整理番号12 施策2 農業分野の研究開発
	政策整理番号13 施策1 医療・福祉関連産業の創出・育成
	政策整理番号14 施策1 農林水産業の発展を担う人材の育成
	政策整理番号15 施策6 産学官連携による技術の普及
	政策整理番号16 施策3 地域資源を活用した観光産業の振興
	政策整理番号17 施策5 有機農産物等の生産
	政策整理番号18 施策5 戦略的な企業誘致
	政策整理番号19 施策4 中小企業の経営基盤の強化 など18施策
ふるさと	政策整理番号22 施策7 地域社会と学校教育との協働の推進
まじわり	政策整理番号33 施策3 仙台国際貿易港の整備と活用
	政策整理番号35 施策3 ささまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進
	政策整理番号36 施策2 産業の情報化、情報産業等の集積促進

「課題有」と評価した施策	
	該当なし

(3) 政策評価指標の状況

平成18年度までに設定された政策評価指標（県の政策に関し、その政策を構成する施策を単位として、その長期的な目標を定量的又は定性的に示す方法により設定した指標）は108指標ありますが、現時点で評価対象となる事業実績がない等の施策に設定された4指標を除く104指標の達成状況をとりまとめました。

なお、1つの政策評価指標に小区分を設けて達成度を判定しているものがあるため、104の政策評価指標の達成度（小区分の達成度）の合計は127となっています。

政策評価指標は、その目標値に対する達成度により以下のように分類しています。

【政策評価指標の達成度の区分】	
政策評価指標の現況の値が	
A	: 目標値を達成したもの。
B	: 目標値は達成していないが、初期値から改善傾向にあるもの。
C	: 目標値を達成しておらず、初期値から悪化しているもの。
…（判定不能）	: データが把握できない等の理由により判定できないもの。

104の政策評価指標（127の達成度）の状況は、以下のとおりです。

目標値を達成したものの「A」は70指標でした。

改善傾向にあるが目標値は達成していないもの「B」は38指標でした。

目標値を達成せず、初期値からみて悪化の傾向にあるもの「C」は14指標でした。

データが把握できない等の理由により達成度が判定不能としたものは5指標でした。

政策評価指標達成度	A	B	C	判定不能 (…)	計
政策評価指標数	70 (55.1%)	38 (29.9%)	14 (11.0%)	5 (3.9%)	127 (100.0%)
分野別内訳					
くらし	26 (57.8%)	14 (31.1%)	2 (4.4%)	3 (6.7%)	45 (100.0%)
なりわい	25 (64.1%)	12 (30.8%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	39 (100.0%)
ふるさと	10 (33.3%)	9 (30.0%)	10 (33.3%)	1 (3.3%)	30 (100.0%)
まじわり	9 (69.2%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)
参考 平成18年度	66 (52.0%)	31 (24.4%)	12 (9.4%)	19 (15.0%)	128 (100.8%)

なお、各政策評価指標の達成状況は、後掲「4 各政策・施策の評価状況」の評価状況一覧の「政策評価指標名」及び「政策評価指標の達成度」の欄をご覧ください。

4 各政策・施策の評価状況

個別の政策・施策の評価状況については、次ページ以降の一覧表のとおりです。

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案																			
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価指標の達成度	政策評価				施策評価														
							A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B										
							施策群設定の妥当性	政策評価指標群の妥当性	施策の有効性		(政策評価) (総括評価)	設け県の関係の妥当性の事業群の適	事業群の有効性	事業群の効率性	(総括評価)										
分野1 くらし																									
1	の障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	1	障害者の地域での生活支援	1	障害者生活支援センター設置数	...	適切	概ね適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	概ね適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切										
			2	グループホーム設置数	A	有効						概ね適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切										
		2	重度障害者の家庭での生活支援	3	利用希望者に対する提供率	A						有効	概ね適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切									
			3	介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	4	要支援・要介護高齢者のうち介護サービスを利用している者の割合						B	概ね有効	概ね有効	概ね効率的	概ね適切									
		4	元気高齢者の生きがいづくり	5	訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーションの利用回数	A						有効	適切	有効	効率的	適切									
		5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	6	ケアマネジメントリーダー数	A						有効	適切	有効	効率的	適切									
6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進																								
2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	1	地域の中核的な病院の整備	7	入院患者の自圏域内(二次医療圏内)入院率	A	適切	適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	効率的	概ね適切										
			2	周産期・小児医療体制の充実	8	周産期死亡率(出産千当たり)						A	概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切								
		3	救急医療体制の充実	9	救急搬送患者の二次医療圏内搬送率	B						概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切									
			4	精神医療体制の充実	10	精神障害者の措置入院者の県内対応率						B	概ね有効	概ね適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切								
		5	在宅ホスピスケアの推進	11	がん患者在宅看取り率	A						有効	適切	概ね有効	概ね有効	概ね効率的	概ね適切								
		6	医療・保健を担う人材の養成・確保	12	医療法に基づく医師数の標準を充足している病院の割合	B						概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切									
		7	医療・保健・福祉の総合的な情報システムの構築																						
		8	子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実																						
3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	1	安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実			適切	概ね適切	有効	適切	適切	適切	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切										
			2	出産や子育てのしやすい労働環境の整備																					
		3	多様な保育サービスの充実	13	保育所入所待機児童数											C	概ね有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切				
			4	子育て家庭の経済的な負担の軽減																					
		5	子ども連れでも安心して活動できるまちづくり																						
			6	子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実	14											児童相談所における児童虐待相談の相談率	A	有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切			
		7	青少年の健全育成	15	引きこもり支援機関の設置数											A	有効	適切	有効	効率的	適切				
16	青少年育成市区町村民会議の設置率			A	有効	適切	有効	効率的	適切																
4	誰もが暮らしやすい環境の整備	1	バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	17	外出時に不自由を感じている障害者・高齢者の割合	A	適切	適切	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切											
			2	誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	17	外出時に不自由を感じている障害者・高齢者の割合					A	概ね有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切									
		3	誰もが利用しやすい情報の提供																						
		4	誰もが使いやすい製品づくり																						
		5	バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成																						

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案								
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価				施策評価				
						A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B
						施策群設定の妥当性	政策評価指標群の妥当性	施策の有効性 施策ごと 政策全体		(政策評価) (総括評価)	設けられた事業の妥当性	事業群の有効性	事業群の効率性	(総括評価)
5	の生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	1	健康づくりに関する意識の向上	18	健康寿命(65歳時の平均自立期間)	...		概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		2	生活習慣病の早期発見と予防	18	健康寿命(65歳時の平均自立期間)	...		概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		3	歯と歯ぐきの健康づくり											
		4	結核等感染症の予防と正しい知識の普及											
		5	難病患者等の健康維持の支援											
		6	地域リハビリテーションサービスの提供	18	健康寿命(65歳時の平均自立期間)	...								
		19		65歳以上人口の中で重度要介護者数(介護保険の要介護度4及び5の認定を受けている人の数)の占める割合	A			有効		適切	有効	概ね効率的	適切	
7	薬物乱用防止啓発活動の推進													
6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	1	救急搬送体制の整備	20	救急車現場到着時間の全国対比値	A								
				21	県救急隊数に占める救急救命士運用隊の割合	A								
				22	活動救急救命士に占める薬剤投与有資格者の割合	A								
				23	活動救急救命士に占める気管挿管有資格者の割合	B								
		2	犯罪のない安心して暮らせるまちづくり											
		3	事故のない安全で快適な交通社会の実現	24	年間の交通事故死者数	A			有効		適切	有効	効率的	適切
		4	食品や水道水などの安全確保	25	食の安全安心取組宣言事業所数	B			概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
5	建築物の安全性と適正な維持保全の確保													
6	生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実													
7	消費者被害の防止													
7	県土の保全と災害に強い地域づくり	1	地域ぐるみの防災体制整備	26	自主防災組織の組織率	B								
				27	各市町村における防災・震災訓練参加者数	A								
		2	水害から地域を守る河川等の整備	28	ハザードマップ作成市町村数(洪水災害)	B			概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
		3	土砂災害から地域を守る地すべり対策等	29	土砂災害危険箇所におけるハード及びソフト対策実施箇所数	A			有効		適切	有効	効率的	適切
		4	高潮や高波等による災害に強い海岸の整備											
		5	震災対策の推進	30	各市町村防災計画(震災対策編)の更新市町村数	B			概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
		6	地震防災のために必要な施設、設備の整備	31	消防水利の基準に対する充足率	B								
32	119番通報発信位置情報表示システムを運用している消防本部の割合	A				概ね有効		適切	概ね有効		概ね適切			
7	学校などの公共施設等の耐震改修													
8	地球環境の保全	1	地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	33	1人当たり温室効果ガス年間排出量	B								
		2	新エネルギー等の導入促進	34	自然エネルギー等導入量導入量合計(原換算KL)	A			有効		適切	有効	効率的	適切
		3	オゾン層の破壊の原因となるフロン対策の推進											
		4	国際的な環境保全活動への積極的な関与											
		5	環境教育の推進、環境情報の提供											
		6	環境に配慮した生活様式、事業活動の促進											

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案										
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価指標の達成度	政策評価				施策評価					
							A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B	
							施策群設定の妥当性	政策評価指標群の妥当性	施策の有用性 施策ごと	政策全体	政策評価(総括評価)	設切県の 関係の 妥当性の 事業群の 有効性	事業群の 有効性	事業群の 効率的性	施策評価 (総括評価)	
9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	1	大気環境の保全	35	窒素酸化物排出量(自動車からの)	...	課題有	概ね適切	概ね有効	概ね適切	概ね有効	概ね適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		2	河川や湖沼、海等の水環境の保全	36	公共用水域(河川・湖沼・海域)の水質	A					有効	適切	有効	効率的	適切	
		3	土壌汚染や地盤沈下の防止													
		4	騒音や振動の防止													
		5	悪臭の防止													
		6	ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進	37	ダイオキシン類排出量(一般廃棄物焼却施設からの)	A					有効	適切	有効	効率的	適切	
		7	環境負荷を減らす仕組みづくり													
10	豊かな自然環境の保全・創造	1	自然公園等の優れた自然環境の保全	38	自然環境が保護されている地域の割合	A	適切	概ね適切	概ね有効	概ね適切	概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		2	身近な緑の保全・再生・創造													
		3	景観・歴史的環境の保全													
		4	野生動植物の保護													
		5	森林の適正な管理	39	民有林の人工林間伐実行面積割合	B					概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		6	自然とふれあう場や機会の提供	40	みどりとふれあえる空間の面積(森林公園等の面積)	B					課題有	適切	有効	効率的	適切	
11	循環型社会の形成	1	廃棄物の排出量の抑制	41	1日1人当たりごみ排出量	C	適切	適切	有効	適切	有効	適切	有効	概ね効率的	適切	
				42	産業廃棄物排出量	A										
		2	廃棄物の資源化によるリサイクル	43	産業廃棄物再生利用率	A					有効	適切	有効	概ね効率的	適切	
				44	ごみのリサイクル率	B										
		3	廃棄物の適正処理の推進	45	不適正処分された産業廃棄物の残存量	A					有効	適切	有効	効率的	適切	
		4	資源循環に配慮した企業活動の促進													
		5	県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進													
6	限りある資源の持続的な利用															

くらし (評価対象政策・施策) 11政策 38施策	政策評価指標の達成度		政策評価(総括)		施策評価(総括)	
	A	26	適切	3	適切	14
	B	14	概ね適切	8	概ね適切	24
	C	2	課題有	0	課題有	0
	...	3	合計	11	合計	38
	合計	45				

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案										
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価				施策評価						
						A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B		
						施策群設定の妥当性	政策評価指標群の妥当性	施策の有効性 施策ごと 政策全体		(政策評価) (総括評価)	設け県の関係の妥当性の事業群	事業群の有効性	事業群の効率性	(総括評価)		
分野2 なりわい																
12	産業研究開発の高度化に向けた	1	創造的研究開発の推進	46	産業技術研究成果普及率	A	適切	適切	有効	有効	適切	適切	有効	効率的	適切	
		2	農業分野の研究開発	46	産業技術研究成果普及率	A						適切	有効	効率的	適切	
		3	林業分野の研究開発	46	産業技術研究成果普及率	A						適切	有効	効率的	適切	
		4	水産業分野の研究開発	46	産業技術研究成果普及率	A						適切	有効	効率的	適切	
		5	工業分野の研究開発	46	産業技術研究成果普及率	A						適切	有効	効率的	適切	
13	新成長産業の創出・育成	1	医療・福祉関連産業の創出・育成	47	医療・福祉分野における産学官共同による先端的研究成果移転件数	A	適切	適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	適切	有効	効率的	適切	
		2	環境関連産業の創出・育成	48	環境関連分野における先進的技術の美用化・事業化件数	A						適切	有効	概ね効率的	適切	
		3	IT(情報技術)関連産業の創出・育成	49	高度情報化を推進する情報サービス産業等の従事者数	...						適切	有効	概ね効率的	適切	
		4	食関連産業の創出・育成	50	新たな機能性加工食品の売上を計上した企業数	B						適切	有効	概ね効率的	適切	
		5	その他の新成長産業の創出・育成													
		6	起業家の育成													
14	新しい時代を担う産業人の育成	1	農林水産業の発展を担う人材の育成	53	意欲ある農林漁業者・経営体数・認定農業者数	A	適切	適切	有効	有効	適切	適切	有効	概ね効率的	適切	
					意欲ある農林漁業者・経営体数・認定林業事業体数	A										
					意欲ある農林漁業者・経営体数・専門的漁業経営体数の割合	A										
					意欲ある農林漁業者・経営体数・新規農林水産業就業者数	B										
		2	製造業等の発展を担う人材の育成	54	技能検定合格者数(累計)	A	適切	有効	有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切			
3	商業・サービス業の発展を担う人材の育成	55	商業・サービス業の人材育成につながる事業への参加者数等(研修受講者数等)	B	適切	有効	有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切					
4	IT(情報技術)等社会経済の変化に対応した人材の育成	56	情報技術活用による経営革新をめざして専門家の派遣を受けた中小企業数	B	適切	概ね有効	有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切					
15	高度な産業技術の普及推進	1	普及活動を推進する専門的技術者の養成				適切	適切	有効	適切						
		2	普及を推進する施設の整備													
		3	早く確実な技術移転													
		4	技術に関する情報の迅速な提供													
		5	各産業分野の課題やニーズの適切な把握													
		6	産学官連携による技術の普及	57	先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数	A					適切	有効	有効	適切	有効	効率的

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案								
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価				施策評価				
						A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B
						施策群設定の妥当性	政策評価指標群の妥当性	施策の有用性 施策ごと	政策全体	(政策評価) (総括評価)	設切県の 定性の 妥当性の 群適	事業 群の 有効性	事業 群の 効率的	事業 群の 効率的 (総括評価)
16	創産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の	1	農林水産物の付加価値の向上	58	アグリビジネス経営体数	A		有効		適切	有効	概ね効率的	適切	
		2	農林水産業や観光産業などの産業間の連携	59	地域資源活用事業創出件数	A		有効		適切	有効	効率的	適切	
		3	地域資源を活用した観光産業の振興	60	観光客入込数	A		有効		適切	有効	効率的	適切	
		4	地域間の連携による地域産業の育成				適切	適切	有効	適切				
		5	地域資源を活用するための情報集積・情報提供											
		6	農林水産業者、商工業者、NPOなどによる地域ネットワークの形成											
		7	魅力ある商店街づくりによる商業の振興	61	中心市街地活性化基本計画策定市町村数 TMO認定数	A B			概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	1	米、麦、大豆の高品質化と低コスト化	62	みやぎ産品認知度・シェア(農畜産物(生産額20億円以上の品目数))	B		概ね有効		適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
		2	野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上	62	みやぎ産品認知度・シェア(農畜産物(生産額20億円以上の品目数))	B		概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		3	県産木材のブランド化と品質の向上	63	安心・安全なみやぎ産品の供給量(優良みやぎ材(品質基準適合製材品)出荷量)	A		有効		適切	有効	効率的	適切	
		4	県産水産物のブランド化と品質の向上	62	みやぎ産品認知度・シェア(水産物(仙台・東京中央卸売市場における主要品目販売額シェア))	C		概ね有効		適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
				64	水産加工品評会受賞品の継続製造・販売品目数	A				適切	有効	効率的	適切	
		5	有機農産物等の生産	65	環境保全型農業に取り組む農家数の割合 県認証制度、エコファーマー等取組農家数の割合	A A	適切	適切	有効	概ね有効	適切	有効	効率的	適切
		6	安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化	63	安心・安全なみやぎ産品の供給量(HACCP方式等高度衛生管理導入施設数)	B		概ね有効		適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
63	安心・安全なみやぎ産品の供給量(県産牛の出荷頭数)			B				適切	概ね有効	効率的	概ね適切			
7	県産品の流通・販売の促進	62	みやぎ産品認知度・シェア(農畜産物(生産額20億円以上の品目数))	B		概ね有効		適切	概ね有効	効率的	概ね適切			
		62	みやぎ産品認知度・シェア(水産物(仙台・東京中央卸売市場における主要品目販売額シェア))	C				適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切			
		62	みやぎ産品認知度・シェア(木材(県の製材用木材需要量に占める県産材率))	A				適切	概ね有効	効率的	概ね適切			

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案									
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価				施策評価					
						A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B	
						施策群設定の妥当性	政策群設定の妥当性	施策の有用性 施策ごと	政策全体	政策評価(総括)	設け県の関係の妥当性	事業群の有効性	事業群の効率性	施策評価(総括)	
18	産業基盤の整備による生産力の強化	1	ほ場整備等農業に必要な基盤の整備			適切	適切	有効	適切						
		2	漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備												
		3	林道など林業に必要な基盤の整備												
		4	企業活動に必要な工業団地等の基盤整備												
		5	戦略的な企業誘致	66	全立地件数に対する先端技術を有する企業の割合					A		適切	有効	効率的	適切
		6	物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備												
19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	1	農業における経営基盤の強化			適切	適切	有効	適切						
		2	林業における経営基盤の強化												
		3	水産業における経営基盤の強化												
		4	中小企業の経営基盤の強化	67	製造品出荷額					A		適切	有効	効率的	適切
		5	国際化への対応	68	国際経済コンサルティングの利用事業数					A		適切	有効	効率的	適切
				69	宮城県貿易額					A					
		6	農協、漁協、商工会等産業関係団体の育成												
7	経営診断等の専門的人材の育成														
20	多様な職業能力開発の推進に対応した	1	IT(情報技術)等時代の要請に対応した新たな職業能力の開発	70	県の支援による職業技術向上者数	B	課題有	課題有	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
		2	より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	70	県の支援による職業技術向上者数	B					適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
		3	職業能力開発のための施設、設備の充実	70	県の支援による職業技術向上者数	B					適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
		4	高度で専門的な技術や技能の習得を支える指導者の育成	70	県の支援による職業技術向上者数	B					適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
		5	企業内における職業能力開発の推進	70	県の支援による職業技術向上者数	B					適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
		6	個人が自ら職業能力開発できる環境整備	70	県の支援による職業技術向上者数	B					適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
		7	熟練技能者の能力の活用・継承												
21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	1	雇用の創出	71	雇用創出促進事業などによる新規雇用者数(実人員)	A	適切	適切	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		2	労働者の業種間の円滑な移動												
		3	勤労者福祉の充実												
		4	女性が働きやすい環境の整備	72	育児休業取得率(男性)	B					適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
				73	ファミリー・サポート・センターの設置箇所数	A									
		5	高齢者の雇用・就業機会の拡大	74	シルバー人材センター(公益法人立)の県内設置率	B					適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		6	障害者の多様な就業対策	75	障害者雇用率	B					適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
7	新規卒卒者の就職対策	76	新規高卒者の就職内定(決定)率	A	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切							
なりわい (評価対象政策・施策) 10政策 39施策					政策評価指標の達成度			政策評価(総括)		施策評価(総括)					
					A	25	適切	6	適切	18					
					B	12	概ね適切	4	概ね適切	21					
					C	1	課題有	0	課題有	0					
					...	1	合計	10	合計	39					
					合計	39									

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案									
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価指標の達成度	政策評価				施策評価				
							A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B
							施策群設定の妥当性	政策評価指標群の妥当性	施策の有効性 施策ごと 政策全体		政策評価(総括)	設けられた事業の妥当性	事業群の有効性	事業群の効率性	施策評価(総括)
分野3 ふるさと															
22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	1	特色ある学校づくり	77	総合学科等の新しいタイプの県立学校校数	B	適切	適切	概ね有効	概ね有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
				78	児童生徒の学習意欲・学習理解度(小学校)(正答率60%以上の問題数の割合)	C									
				78	児童生徒の学習意欲・学習理解度(小学校)(授業が分かると答えた児童生徒の割合)	B									
				78	児童生徒の学習意欲・学習理解度(小学校)(平日に家庭等で学習時間(30分以上)を確保している児童生徒の割合)	C									
				78	児童生徒の学習意欲・学習理解度(中学校)(正答率60%以上の問題数の割合)	C									
				78	児童生徒の学習意欲・学習理解度(中学校)(授業が分かると答えた児童生徒の割合)	A									
				78	児童生徒の学習意欲・学習理解度(中学校)(平日に家庭等で学習時間(1時間以上)を確保している児童生徒の割合)	B									
				79	生徒の学習意欲・進学達成度(高等学校)(平日に家庭等での学習時間が2時間以上の生徒の割合(高等学校1年生))	C									
				79	生徒の学習意欲・進学達成度(高等学校)(現役進学達成率の全国平均との乖離)	A									
				80	外部評価実施学校(小・中)の割合	C									
				80	外部評価実施学校(高)の割合	C									
		2	不登校児童生徒等への支援	81	不登校生徒の在籍者比率(出現率)小学校	B	適切	適切	概ね有効	概ね有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
				81	不登校生徒の在籍者比率(出現率)中学校	C									
				81	不登校生徒の在籍者比率(出現率)中学校1年	C									
		3	特別支援教育の充実	82	特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合	A	有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切				
		4	私立学校教育の振興												
		5	大学等高等教育の充実	83	県立大学卒業生の就職率	A	概ね有効	適切	有効	概ね効率的	概ね適切				
		6	地域に開かれた学校づくり	84	全授業日数中、社会人講師等が教えている日数の割合(小学校)	C	適切	適切	概ね有効	概ね有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切	
				84	全授業日数中、社会人講師等が教えている日数の割合(中学校)	A									
				84	全授業日数中、社会人講師等が教えている日数の割合(高等学校)	A									
				85	10日以上授業公開日を設定している学校の割合(小学校)	A									
				85	10日以上授業公開日を設定している学校の割合(中学校)	B									
85	10日以上授業公開日を設定している学校の割合(高等学校)	A													
7	地域社会と学校教育との協働の推進	86	小・中学校における「学社連携・融合事業」の実施割合	A	有効	適切	有効	効率的	適切						

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案																				
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価指標の達成度	政策評価				施策評価															
							A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B											
							施策群設定の妥当性	政策評価指標群の妥当性	施策の有用性 施策ごと	政策全体	(政策評価) (総括評価)	設切県の 性の関与の の妥当性の の妥当性の の妥当性の	事業群の 有効性の	事業群の 効率的性の	(総括評価)											
23	実生涯にわたって学び楽しめる環境の充	1	多様なニーズに対応した学習機会の提供	87	みやぎ県民大学受講者数(累計)	A	適切	適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	効率的	概ね適切											
				88	公立図書館における図書資料貸出数(県民一人当たり)	B																				
			2	地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成																						
			3	行政、大学及びNPO等生涯学習に関わる様々な機関・団体のネットワーク化																						
			4	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実																						
5	生涯学習に関する様々な情報提供システムの充実																									
24	の男女が共同参加できる社会の実現と成	1	男女がともに個性と能力を發揮できる社会づくり	89	県の審議会等委員の女性比率	B	適切	概ね適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切											
				2	青少年の社会参加																					
				3	障害者の社会参加																					
		4	高齢者がいきいきと生活する社会づくり	90	高齢者のうち就業・社会活動している者の割合	...																				
		5	女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	91	提供するサービスに関し第三者評価を実施した入所施設の割合	B																				
26	存地や地域の誇りとなる文化・芸術の保	1	文化財、伝統文化の保存・継承・活用				適切	課題有	概ね有効	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	効率的	概ね適切											
				2	美術や演劇など文化・芸術活動に親むための環境づくり	92										県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)	B									
				3	県民が行う創作活動や表現活動への支援	92										県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)	B									
				4	食文化等の生活文化の保存・継承・活用																					
				5	文化・芸術活動を創造・先導する人材の育成																					
				6	海外との文化交流等の推進																					
27	地多様なく主体の推進による	1	県・市町村・住民の協働による地域づくり				概ね適切	課題有	概ね有効	概ね有効	概ね適切	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切											
				2	NPO(民間の非営利組織)の活動の支援	94										NPOの法人設立認証数(人口10万人当たりの全国順位)	C									
				3	環境美化運動など地域コミュニティ活動																					
				4	住民主体の地域福祉活動等の推進																					
				5	市民団体等のネットワークづくり																					

ふるさと
(評価対象政策・施策)
5政策
13施策

A	10
B	9
C	10
...	1
合計	30

適切	0
概ね適切	5
課題有	0
合計	5

適切	1
概ね適切	12
課題有	0
合計	13

平成19年度政策評価・施策評価 評価状況一覧表

施策体系(総合計画第 期実施計画)						評価原案										
政策整理番号	政策名	施策番号	施策名	政策評価指標番号	政策評価指標名	政策評価				施策評価						
						A-1	A-2	A-3		A	B-1	B-2	B-3	B		
						施策群設定の妥当性	政策群の妥当性	施策の有効性		(政策評価) (総括)	設切県の関係の妥当性	事業群の有効性	事業群の効率的	(総括) (政策評価)		
分野4 まじわり																
33	機能の内外強化	1	仙台空港の機能の強化と活用	95	仙台空港利用者数(国内線、国際線)	A	適切	適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	概ね有効	概ね適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
		2	仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用	95	仙台空港利用者数(国内線、国際線)	A						概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
		3	仙台国際貿易港の整備と活用	96	仙台塩釜港(仙台港区)外貿コンテナ貨物取扱量	A						有効	適切	有効	効率的	適切
		4	仙台国際貿易港の周辺施設の整備と活用	97	仙台港背後地区市街化率	A						有効	概ね適切	有効	概ね効率的	概ね適切
		5	地域を支える港湾の整備と活用													
		6	輸出入を促進する貿易振興策の充実													
34	国内整備の交流を進めるための交通基盤	1	高速道路の整備	98	高速道路(C40分間交通圏)カバー率	B	適切	適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
		2	国道、県道、市町村道の整備	99	道路の改良率	B						概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
				100	緊急輸送道路橋梁整備率	A						概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
		3	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備	101	県内移動における公共交通の利用率	A						概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切
4	各輸送機関相互の連携の強化															
35	国際協力の推進	1	国際化を担う人材育成の推進	102	ALT(外国語指導助手)1人当たりの生徒数	A	適切	概ね適切	概ね有効	概ね有効	概ね適切	有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切
		2	外国人の暮らしやすい環境づくり	103	県内外国人留学生数	A						概ね有効	適切	概ね有効	効率的	概ね適切
		3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	104	公的主体による交流事業で海外と往来した延べ人数	A						有効	適切	有効	概ね効率的	適切
		4	国際交流活動を支える体制づくり													
36	高度情報化に対応した社会の形成	1	高速情報通信ネットワークの整備				適切	概ね適切	概ね有効	概ね適切						
		2	産業の情報化、情報産業等の集積促進	106	情報サービス産業企業数	C					概ね有効	適切	有効	概ね効率的	適切	
		3	県民生活に関する情報化の推進													
		4	電子自治体化の推進	107	電子申請・届出件数の割合	B					概ね有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
		5	次世代を担うIT人材の育成	108	コンピュータを使って教科等の指導ができる教員の比率	A					有効	適切	概ね有効	概ね効率的	概ね適切	
まじわり (評価対象政策・施策) 4政策 13施策						政策評価指標の達成度 A 9 B 3 C 1 … 0 合計 13		政策評価 適切 0 概ね適切 4 課題有 0 合計 4		施策評価 適切 3 概ね適切 10 課題有 0 合計 13						
全体 (評価対象政策・施策) 30政策 103施策						政策評価指標の達成度 A 70 B 38 C 14 … 5 合計 127		政策評価 適切 9 概ね適切 21 課題有 0 合計 30		施策評価 適切 36 概ね適切 67 課題有 0 合計 103						